

子どもの歯は大人の歯への道しるべ

大豊町の歯科保健事業の取り組み

6月4日から10日は、「歯と口の健康週間」です。

子どもの歯「乳歯」は5～8カ月頃から生え始め、2歳前後で20本の乳歯が生えそろいます。

しかし、3歳児健診までに乳歯がむし歯になっていることが多いという現状です。

「どうせ乳歯は生え変わるから…」と安易に考えていませんか？

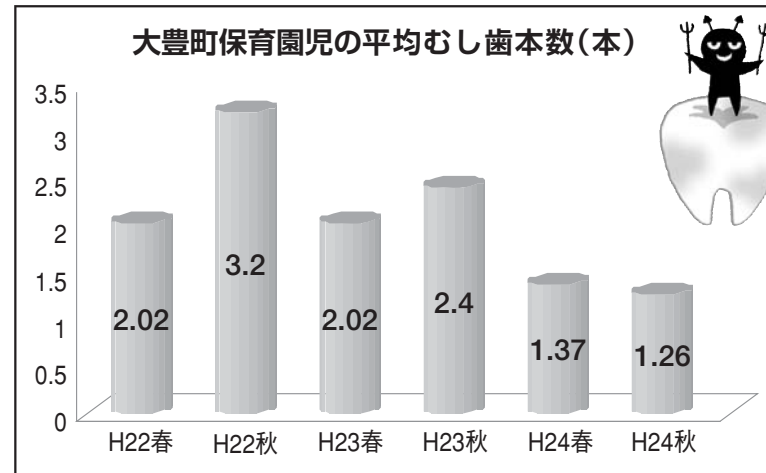
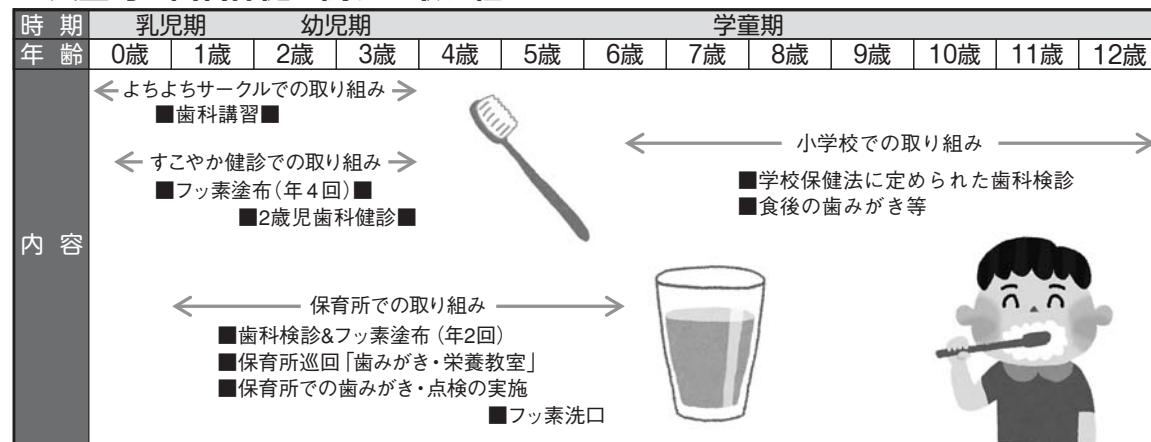
「乳歯」は大人の歯「永久歯」の道しるべになる大切な役割を担っていますので、「永久歯」のためにも「乳歯」を大切にすることが重要になってきます。

大豊町では毎年この時期に併せて、町内各保育所で歯科栄養教室を実施しています。

今回、大豊町の歯科保健事業の取り組みや子どもたちの現状ををご紹介します、お子さんの歯、お孫さんの歯、そしてご自分の歯の健康について、一緒に考えていきたいと思っています。

「80歳になっても自分の歯を20本以上保とう」という「8020運動」も、子どもの頃からの習慣で達成可能ですよ！

大豊町の歯科保健に関する取り組み



大豊町の園児の現状をグラフに表しています。

グラフを見てもわかるように、少しずつ減少傾向にあります。

大豊町では、平成16年から乳幼児健診時に「フッ素塗布」を行っています。平成19年には保育所歯科健診時の希望者への「フッ素塗布」を開始し、平成24年からは保育所の年長児を対象に「フッ素洗口」を行っています。

このように大豊町では、子どもたちの虫歯予防・口腔環境の整備・歯質の強化を目的として「フッ化物応用法」を歯科保健事業に取り入れています。

また、今年度からは「2歳児歯科健診」を行い、無料歯科健診や希望者へのフッ素塗布の他、おやつとの与え方からブラッシング指導まで、生活習慣に関する知識の提供を行いたいと考えています。



2歳児歯科健診でのブラッシング指導の様子

生まれたての赤ちゃんの口の中にはむし歯菌は存在しない?!

むし歯菌は子どもの成長の過程で家族や生活環境により感染するといわれています。

皆さんは、赤ちゃんに食事を与えるとき



き大人と同じスプーンやお箸を使ってはいないでしょうか？
周囲の大人が気を付けてあげること、むし歯菌の感染を防ぐことができます。



大豊町の子どもたちの現状

○保育園(5歳児・H24)
ひとり平均むし歯本数(2.6本)
むし歯罹患率(43.7%)

○小学生(H23)
ひとり平均むし歯本数(2.6本)
むし歯罹患率(84.8%)

○中学校(H23)
ひとり平均むし歯本数(5.62本)
むし歯罹患率(93.9%)

今すぐできる家庭での虫歯予防

☆はみがき習慣をつけましょう

夜寝る前は「はみがき+仕上げみがき」でお口の中をきれいに！

☆食事(おやつ)の与え方に気をつけましょう

食事の間隔はどうか。間食の回数は多くないですか。

だらだら食いはむし歯の原因になります！

☆むし歯菌の感染を防ぐようにしましょう

同じお箸やスプーンで食べていませんか。
むし歯菌は家族(親)から感染します。

☆かかりつけ歯科医をもちましょう

むし歯がなくても定期健診に行く習慣をつけましょう！

高知県いい歯の表彰

「熟年の部」募集!

高知県では高知県歯科衛生士会の協力のもと、8020運動事業の一環として、80歳以上で噛むことのできる自分の歯が多く残っている方を調査し、表彰する「高知県いい歯の表彰 熟年の部」を実施しています。

応募方法は次のとおりです。

【対象者】平成25年11月8日(いい歯の日)時点で80歳以上の方

【募集期間】7月26日(金)まで

※自薦他薦は問いません。応募ご希望の方は役場までご連絡ください。

問い合わせ先…住民課健康づくり班

平石